



SPECIAL 特集 FEATURE

精神障害者の 地域移行から アウトリーチまで

日本の精神科における在院日数の長さは際立っている。厚生労働省は、精神障害者の地域定着支援をめざした「精神障害者アウトリーチ推進事業」を開始した。入院からアウトリーチ（訪問支援）へのパラダイムシフトが進むなかで、その意義と保健師の役割、地域精神保健福祉対策の拠点としての保健所の役割を振り返る。